

和の光

宝塚市立西谷中学校



卒業を前に思うこと

校長 筒井 啓介

卒業式の練習が始まり「ついに卒業なんだ」、「15年間共に過ごした仲間との別れが寂しい」とか「高校って中学校とどう違うのかな」など、3年生の皆さんは複雑な気持ちではないでしょうか？

私は、みなさんと出会い、西谷中学校で2年間を共に過ごさせてもらいました。中学生という時期は人生の中で一度しかありません。そして、心も身体も大きく成長する時期でもあります。そのような大切な時期を共に過ごすことができたことを心から嬉しく思っています。

先日の「3年生を送る会」でこの2年間に撮影した写真をもとに動画を作成し、みなさんに観ていただきました。当初は20分程度の動画を想定していたのですが、一人一人の生徒の笑顔を見ていると、この写真を見せてあげたい、この場面を思い出してもらいたいなど、だんだんと欲が出てきました。そして、一度は完成したのですが…。いつも登校時や廊下、教室でみなさんと出会った時に、笑顔で優しい声掛けをしてくれる皆さんに、最後に何か声をかけてあげたいと思いました。そこで、ラストに「かけがえのない19名の仲間たちへ」というタイトルで、一人一人の顔写真と共に私からのメッセージを書かせてもらうことにしました。一人一人の写真を眺めながら書いていると、胸に込み上げてくるものがありました。そうこうしていると、トータル47分間の動画になっていました。（生徒朝礼の長い話のようですね。）でも、笑いあり涙ありで観てくれたこと嬉しく思います。有難う！！

さて、話は変わりますが、私は公立高校の推薦・特色選抜の面接練習時に「先行きの見えない時代を生きて行くうえで必要な力は何ですか」と質問した時に、「コミュニケーション能力です」とか「情報を正しく判断する力です」と、答えてくれた生徒がいます。（覚えていますか？）私は、かなり意地悪な質問をしたのですが、立派な答えに驚きました。

義務教育までは社会で生きて行くための基礎的な力や学びの基礎を身に付けてきましたが、高等学校ではこれらを基にしてより深い学びを行うこととなります。そして、高等学校やその先の大学では義務教育時以上に主体性が求められます。（例えば、宿題がなくても自分で復習するのは当然のこと。さらに教科によっては予習もある程度は必要になります。）厳しいように思うかも知れませんが、そのことはしっかりと理解しておいてください。また、中学校とは異なる仲間との出会いもあります。新たな仲間との出会いから学ぶこともたくさんあります。学校行事や部活動でも仲間と共に一喜一憂するなど様々な経験を積み上げていくことでしょう。そして、学んだ知識や経験をもとにして、唯一の答えのない問題に立ち向かっていく力を育てて欲しいと思っています。なぜなら、その力こそ先行きの見えない時代を生き抜くために必要なものだからです。

省略

■ 4 4 人の仲間と築いた思い出～文化発表会～

